

京田辺市女性交流支援ルーム

「ポケット」だより



2026年
冬号

デートDVって知っていますか？

デートDVは、カップル間で起こる暴力のことで、身体的、精神的、性的、経済的など、さまざまな種類があります。相手が自分の思いどおりになるのが当然と考え、コントロールしようとする態度や行動のことをいい、被害者は女性に限りません。



デートDVを防ぐために、女性交流支援ルームでは、京都府立田辺高等学校の2年生と同志社女子大学社会システム学科の学生を対象に、デートDV防止啓発事業を行っています。高校生や大学生が、カップルの役をわかりやすく演じ、デートDVについて一緒に考えました。配布したデートDV防止啓発カードを見ながら、どのような行為がDVにあたるかチェックし、困った時の相談窓口を案内しました。

アンケートでは、約3割の人が「デートDVを知らなかった。」と回答しています。「相手に対する執着心や思いの強さから、相手を支配したいと思ってしまうことがDVにつながるとわかった。」「相手とちゃんと話し合うことが大切だと思った。」「好きだから何をしてもいいわけでもないし、相手を思いやってつき合っていくことが大事だと思った。」「知らないうちに、加害者にも被害者にもならないよう気をつけたい。」などの感想がありました。



デートDVについて知ってもらい、人間関係において自分も相手も大切に、対等な関係を築くことを学ぶ機会となるよう、今後も事業を続けていきます。

- 相談窓口 -

女性交流支援ルーム

「女性の相談室」

☎0774-65-3727

(平日:10時~18時)

電話で相談

DV相談ナビ

☎ #8008

性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター

☎ #8891

チャットで相談

DV相談
プラス



(参考:内閣府男女共同参画局)

さまざまな分野における男女共同参画を推進するため、性別にとらわれず個性を發揮し、活躍している人を紹介します。

「暮らしの中に根ざす農業を目指して」



▲京田辺市農業委員会農地利用最適化推進委員
/Ever Garden代表

村瀬 梓（むらせ・あずさ）さん（左端）

「農業に携わるようになったきっかけは、実家が兼業農家で小さい頃から祖父と一緒に畑に行って遊んでいました。結婚してからは、結婚先が農家だったので、北海道で10年程農業に携わっていました。その後、子ども達の食育や環境に配慮した農業といった自分たちのやりたい農業をするために京田辺の私の実家に戻ることになりました。夫は働いていたので、私が実家の畑を引き継ぎました。」

「農業をする上で注意している点は、農業は、出来るだけ手をかけないようになっています。あまりに大変だと続けるのが難しくなるので、畑もできるだけ省力化し、畑の畝の横には防草シートをはって草が生えないようにするなど工夫しています。基本的に農薬や除草剤は使いたくないので、できるだけ元気に野菜が育つように気をつけています。」

「農業以外の活動について」
現在、地元で農業委員会の農地利用最適化推進委員としても活動しています。農地を借りた人がいた時に農地を幹旋し、農地を適切に使用できているかなどを管理したり、農地の見回りなどをしています。

また、「こどもごはん」は、地産地消オーガニック給食の推進と子どもへの食育などを目的として活動しており、現在20人程の会員がいます。去年はさつまいもを植えるところから、収穫して皆で調理して食べるところまでをするイベントを行いました。

「農業をしていて大変だったこと、良かったことは」

農業は体力を使います。一人で全部するのは大変ですが、基本的に人が増えれば増えるほど楽になります。最近は様々な活動をしていく中で、周りの方がお手伝いしてくれたり、是非一緒にやらせてくださいと言ってくれる方が増えました。そういった色々な人とのつながりが出来て良かったと思います。

「今後の抱負などを教えてください」

私自身が農業をしていてすごく元気をもらっており、農業のこともっと色々な人に知ってもらいたいです。「食べることは生きること」なので、農業を暮らしの中に溶け込ませたいと思っています。

昨年一番下の子どもを出産され、4児の母としての顔も持つ村瀬さん。朝に畑に行く際は旦那さんが子どもを面倒を見たりと、写真からも、家族の絆がうかがえました。

詳細版はElaを「ご覧ください」！

女性交流支援ルーム情報ボックス等利用団体の紹介

〈NPO法人そよかぜ子育てサポート〉

当NPO法人は、妊娠期から高齢期まで人生の様々な時期にある方に寄りそい、地域の中で安心して暮らせるよう支援を行っています。子育て支援や相談、居場所づくりなどをおして皆さんの「ちょっと困った」にそっと手を差し伸べられる存在でありたいと考えています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

そよかぜナースリー（幼児教室）、子育てひろばてふてふ、とんとん・ママ（訪問相談）ファミリーサポートセンター、まゆあいのおうち保育園、認知症カフェなど



「女性の相談室」より

ひとりで悩んでいませんか？女性の相談室では、女性の抱える悩みの解決に向けて、専門相談（フェミニスト・カウンセリング）や法律相談を下記のとおり行い、女性のカウンセラーや弁護士などが丁寧に話を伺います。

京田辺市
女性交流支援ルーム
「女性の相談室」
専用ダイヤル
(0774) 65-3727
受付時間
月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後 1時～5時

場所：女性交流支援ルーム
(アル・プラザ京田辺店2F)

▷ 専門相談

2月19日(木)・2月27日(金)
3月5日(木)・3月19日(木)
①13:30～ ②14:30～ ③15:30～

▷ 専門相談(午前分)

3月27日(金)
①10:30～ ②11:30～ ③12:30～

▷ 法律相談

2月25日(水)・3月25日(水)
①13:30～ ②14:00～ ③14:30～ ④15:00～

※4月以降の相談日は広報等をご覧ください。

ご利用にあたり、予約が必要ですので、「女性の相談室」にお電話ください。料金は無料です。

情報ライブラリー

本・DVDの紹介

情報ライブラリーでは、各種情報や資料を収集し、男女共同参画に関する図書、DVDの貸し出しをしています。その一部をご紹介します。お気に入りの一冊が見つかるといいですね。

本

『ポーズケ』津村 記久子著

奈良のカフェ「ハタナカ」でゆるやかに交差する7人の女性の日常を描く短編集。芥川賞「ポトスライムの舟」の5年後の物語。

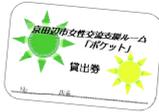
『三淵嘉子 先駆者であり続けた女性法曹の物語』神野 潔著

2024年の連続テレビ小説「虎と翼」のモデルとなった、日本初の女性弁護士、判事及び家庭裁判所長、三淵嘉子の生涯、ともに歩んだ家族、友人同僚たちについて紹介。

『生理ってなあに』高橋 幸子監修

おねえちゃんとプールに行くやくそくをしていたのに、行けないんだって。小学校低学年からを対象に、生理のしくみやつきあいかたを紹介する絵本。

初めての方は「貸出券」をお作りします。借りたい図書・DVD等を交流スペースにお持ちください。ぜひ手にとってご覧ください。

貸出券 → 

新着DVD 3月11日(水) 上映会予定!

『お終活 再春! 人生ラブソディ』(118分)

監督 香月秀之
出演 高畑淳子、橋爪功他

金婚式を迎えた夫婦。一人娘の結婚を目前に控えて、順風満帆な家族に、ある日夫の認知症疑惑が持ち上がる。「終活」を題材に熟年夫婦の悲喜こもごもをつづった大ヒットヒューマンコメディ。



図書はこのような分類して所蔵しています。

・からだ・こころ	・生き方
・家族・子育て	・仕事
・暴力(DV・性暴力など)	
・男女共同参画・女性学・男性学	
・絵本・シリーズもの など	

情報ライブラリー

図書等を借りることができます！

市内在住・通勤・通学の方なら、どなたでも図書等を借りることができます。
図書は、お一人2冊2週間まで
ビデオ（DVD）は、お一人1本1週間まで
※くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

交流スペース

市民のみなさんの交流の場等に
ご利用できます！

情報ボックスのご利用については、登録が必要になります。
※団体やグループでの利用について、くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

「女性の相談室」

女性が生きていく中でさまざまな悩みをお聴きし、解決に向けて寄り添い、一緒に考えます。
一人で悩まず、安心して、ご相談ください。秘密は厳守します。

一般相談（予約不要）

月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

専門相談（要予約）

（フェミニスト・カウンセリング）

毎月 第1・3木曜日
偶数月 第4金曜日
午後1時30分～4時30分

法律相談（要予約）

毎月 第4水曜日
（祝日の場合は第3水曜日）
午後1時30分～3時30分

料金は無料です。まずはお電話ください。

「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間

月曜日～金曜日
午前10時～午後5時



アクセス

JR 京田辺駅すぐ
近鉄 新田辺駅 徒歩5分
（アル・プラザ京田辺2階）

アル・プラザ
平面図



こちらが
女性交流支援ルーム
「ポケット」です。

開室日

月曜日～金曜日

開室時間

午前10時から午後6時まで

休室日

土・日・祝日 年末年始

アル・プラザ京田辺休業日

京田辺市 市民部 人権啓発推進課
京田辺市女性交流支援ルーム「ポケット」

TEL/FAX 0774-65-3709（直通）
〈相談専用〉TEL 0774-65-3727

愛称「ポケット」は、小さいけれど、いつでも情報が取り出せ、誰もが集まりやすい場所という意味で一般公募により名付けられました。

